



カレーライスで地域交流

(佐賀市日新地区・みやき町)



カレーライスを頬張る子どもたち
—佐賀市の日新公民館

佐賀市 子どもたち
に低価格で食
事と居場所を提供する「子
ども食堂」が26日、佐賀市
の日新公民館で開かれた。
日新地区の小中学生や自治
会の大人たちが集い、地元
の消防団の団員らが作った
野菜を使い、辛さが違う3

日新地区 地元消防団が「子ども食堂」

カレーライスで地域交流

◎記事から読み取ろう

○交流の場となっているのは
どこですか。
<日新地区>

<みやき町>

○どんな人が参加していますか。

<日新地区>

<みやき町>

種類のカレー約200人分
を作った。子どもたちはカ
レーライスの上に唐揚げや
ポテトフライなどを乗せ
て、おいしく味わった。
きょうだいで訪れた日新
小6年の川嶋史稀君(12)
は「みんなで一緒に食べら
れて楽しかった目を細め、
消防団は「困っている人を
助けるイメージ。自分も人
を助ける人になりたい」と
話した。
同消防団の北島正信さん
(53)は「子どもたちが大
きくなった時、町に貢献し
てみよいかと思っさっか
けになれば」と笑顔を見せ
た。同消防団による子ども
食堂は今後、メニューを変
えながら年2〜3回開く。
(中島佑子)

(佐賀新聞 2018.8.27)

食卓ぐるり 地域が家族

みやき町で「コミュニティ食堂」



コミュニティ食堂でカレーを食べる参
加者—みやき町ボランティアセンター

3杯おかわりした大富琉生君(9)は「み
んなで食べるといつもよりおいしい」と笑
顔。地元の仲間と参加した桑原美枝子さん
(70)は「食を通してコミュニケーションを
とれて楽しい」と話していた。(瀬戸健太郎)

カレーはボランティアが中心となって調
理。ご飯は参加者が協力しながら飯ごうで
炊きあげた。ご飯が炊きあがるとテーブル
を囲み、食事開始。参加者はおいしそうに
スプーンを口に運び、何度もおかわりする
姿も見られた。

「みやき町」
食事を楽しみながら交流を
図る「コミュニティ食堂」
が9日、みやき町ボランティアセンターで
開かれた。地域の子どもから高齢者まで約
120人が一緒に食卓を囲み、世代を超え
た親睦を深めた。
地域の人たちが一緒に食事することで、
人と人とのつながりや地域のつながりを育
んでいこうと初めて開催した。この日のメ
ニューはカレーで、1人100円で振る舞
った。

(佐賀新聞 2018.9.12)

◎広げよう・深めよう ◎自分の考えをまとめよう *友だちと意見交換したり、家族と話し合ったりしよう

○このような地域活動が大切なのはなぜだろう。